

「おかやま地どり」に乾燥杜仲葉を与え、食味を改良した「びっくり(美っ作り)杜仲地どり」ブランドの商品展開(新商品開発・改良)と販路拡大



岡山県北東部の街・津山市に「つやま新産業開発推進機構」が誕生。産官共同で、津山市の産業の活性化に努めてきた。同市で環境保全と健康重視の住まいづくりを行っていたタカラ産業株式会社も、同機構の取り組みに参加。美作大学交流プラザ「生活科学分科会」にて、大阪大学大学院生命先端工学の杜仲研究で著名な小林昭雄



代表取締役会長 内田 光教

略歴／昭和9年生まれ。同41年タカラ産業株式会社を設立。平成10年杜仲茶による地鶏の研究に着手。同13年代表取締役会長就任。同16年食肉製品製造業の営業許可取得、同17年食肉販売業の営業許可取得。

教授と美作大学地域生活科学研究所の桑守正範准教授に出会い、共同で「杜仲」の総合研究を始めた。「杜仲の葉を養殖のうなぎに与えたところ、焼いても身が柔らかかったという話があるテレビ番組で見ました。そこにヒントを得て、約10年間杜仲を研究。その後、5年の月日をかけて、地どり乾燥杜仲葉を与えて食味を改良した「杜仲地どり」が完成したのです」と会長の内田光教さん。

新事業参入の転機は大学との交流

建築に関わる業務で40年のキャリアアを持つ同社。食用地鶏の開発・販売という全くの異業種に取り組みことに抵抗はなかったのだろうか。「私自身、以前からいずれば『食と健康』の時代がくると思っていま

した。そんな時に大学との交流があり、杜仲の研究という話がきたのです。最初はこういう展開まで予測はしていませんでしたが、食品と薬品、食品と繊維など別業種を展開する企業も多い。異業種への参入にはさほど抵抗は感じませんでした。津山市で飼育の盛んだったおかやま地どりに工夫を施した「杜仲地どり」は、産学共同が生んだ新たなビジネスモデルだと思います」

焼鳥の食感が杜仲地どりのヒントに

「これはいけるんじゃないかと感じたのは、毎年一月に行う『タカラ産業祭』の時。焼鳥は冷めると肉が固くなって食味が落ちますよね。うなぎと同じように鳥に杜仲を与えたらどうだろうと思ひ、地どりの開発

おいしさ二重マルの安心地どり

美作大学との交流から生まれた地どりは、大学の名前を冠して「びっくり(美っ作り)杜仲地どり」と名づけられた。プロイラー特有の独特な呈味(苦味)やにおいはなく、「おいしい肉」といえる。「杜仲葉を与えた地鶏は運動量が増し、活動的で肉質が良

くなるのでは」という研究も進めている。消費者は、食の安全には非常にシビアになっており、そういった点からも「びっくり(美っ作り)杜仲地どり」への注目はますます高まるだろう。「岡山県の畜産センターが作ったひよこに同センターが認定した飼料を与える。そこに杜仲の葉を加えるのがうちの独自性です。おいしさと安全性を追求した地どりは、おかげさまで多くの方から愛されています。「おいしい」という感想のほか「菌ごたえが良い」「もう少し値段が安かったら助かる」というご意見も。さらに工夫して、もっともっと喜んでもらえる製品にしていきたいですね」

現在、加工はほぼ燻製のみだが、リピーターも増えて、製品の供給が需要に追いつかない状況にある。そこで飼育小屋を増やし、安全な地どりを提供するのに無理のない規模まで生産体制を増強する予定だ。

「これからも、おいしくて、安心・安全な手づくり製品をという姿勢は変わりません。お客様の笑顔の輪が広がるように、おいしい地どりをお届けしたいと思います」

Information



産地・地域の現状と課題
平成17年全国地鶏コンテストにおいて優秀賞に輝いた「おかやま地どり」を飼育し、肉質自体を変化させ、新しい食味・食感を実現した。全国的な知名度を高めた地域ブランドとして展開していきたい。事業着手の経緯

事業概要

市の緑化政策の一環で「地どり」に杜仲の葉を与えることにより杜仲地どりの開発に成功した。地域資源の強みと新たな活用視点の導入
杜仲地どりはプロイラーと比べ脂質量が少なく、燻製品としての市場拡大を目指すことになった。



売れる商品づくり

競争力 競合製品との優位性・杜仲を摂取した地どりは、健康に育ち肉質がすぐる良い。
市場性 鶏肉の安全性に関心が高い消費者のニーズに応える商品づくりを目指す。
販路 製品改良や販路開拓により、高級料亭への販路確立や、インターネット販売による一般販売を拡大する。

地域資源における関係事業者との連携

公設試験場等との連携・岡山県総合畜産センター等との産学連携によって企業活動が拡大した。今後ますます



岡山県

タカラ産業 株式会社

所在地 ●岡山県津山市分寺 118-4
TEL ●0868-26-0155
URL ●http://www.a-do.ne.jp/~takara-s/
設立 ●昭和41年12月
資本金 ●1,000万円
従業員数 ●15人

●会社事業内容
住宅設備、業務用厨房設備が主事業であるが、新規事業として「杜仲地どり」の育成にも携わる。地どりに杜仲の葉を与えることにより、一般的なプロイラーより脂質を抑えることに成功。贈答品として市場拡大中。

【活用する資源】
おかやま地どり、鶏肉
【地域】
岡山県津山市
【認定日】
平成19年10月12日
【認定行政庁】
経済産業省、農林水産省